

第 50 回国臨協関信支部学会「学会賞」選考委員会報告

NHO 横浜医療センター

小林真二

国臨協関信支部表彰規程に基づき「第 50 回国臨協関信支部記念学会」の学術奨励賞、学会特別賞ならびに新人賞の選考をいたしましたのでご報告させていただきます。

各賞の選考基準として学術奨励賞は学術的に特に優秀と認めたもの、学会特別賞は施設又は地区会の取り組み等で特に優秀と認めたもの、新人賞は新人枠の中から選考いたします。

1 次選考は登録演題 28 題を学術委員全員で査読し候補者の選出を行い、2 次選考は 8 月 25 日に Web 会議にて芦川委員長（NHO 信州上田病院）、平木輸血部門長（NHO 埼玉病院）、香川委員（国立成育医療研究センター）、椎名副支部長（NHO 水戸医療センター）と支部学術担当理事 4 名の計 8 名により候補者の選出を行いました。最終選考は 9 月 3 日学会当日のライブ配信を視聴し 2 次選考対象演題を中心に審査・採点を 10 段階で行いました。そして 9 月 6 日の学会賞選考委員会による Web 会議にて各賞を最終決定いたしました。

新人賞は「弾発指患者における腱鞘ガングリオンの保有率と関節超音波検査の有用性について」を発表された、渋川医療センターの藤川穂香技師を選出しました。本研究は過去に報告数が少なく貴重であり、治療方法の選択に直接関わる臨床的に有効性の高い検査と思われ、各施設においてとても参考となり得る内容でした。またスライド内容、口頭発表態度ともに高評価でありました。

学術奨励賞は「血液培養陽性液を用いた直接 mCIM 法の検討」を発表された、東京医療センターの角田雅治技師を選出しました。従来法と比較し直接 mCIM 法の有用性を的確に報告し、今後の臨床への応用が期待できる独創的な発表内容でした。今後さらなる検討に期待いたします。

学会特別賞は、残念ながら国臨協関信支部表彰規程の選考基準に該当する発表がなく「該当なし」といたしました。

受賞されました方々ならびに施設の皆様、おめでとうございます。